

# 木曽青峰高と蘇南高の図書委員交流

## 一緒に地元文化財学ぼう



木曽青峰高校(木曽町)と蘇南高校(南木曽町)の図書委員交流会が八日、木曽町福島のやぼら公園などで開かれた。両校の図書委員同士が活動報告をしながら交流する恒例イベントで、今回は両校から十一人が参加。木曽地域を中心に日本遺産に登録されたのを受け、地元の文化財について学ぼうと「まちの案内人の会」(木曽町)の案内で町内の名所を巡った。(桜井祐二)

### 「案内人の会」が説明

生徒らは、同会の川ん(も)は「普段見ている村弘士会長(せり)三人の建物でも知らないこの案内で、宿場町の面影が残る上の段地区や福島関所跡、高瀬家を回った。木曽の歴史が分かる本を皆に読

やぼら公園では、木曽青峰高が、春と秋の読書週間に本を借りるとくじ引きで景品をプレゼントしたり、生徒が薦める本を図書館の前に貼り出したりしていることを報告。蘇南高は、図書委員が南木曽小学校へ読み聞かせに行く活動などを説明した。

木曽青峰高三年の図書委員長、田上恭平さん。川村会長は「若い人たちが地元の歴史を勉強をして、伝えてほしい」と期待していた。

「まちの案内人の会」関係者から説明を聞く生徒ら＝木曽町の福島関所跡で